

観光で地域を活性化

広島県大型観光 キャンペーン実施中

商工観光課観光交流係 ☎0824-73-1178



人と人との交流やおもてなしが観光地の魅力に

庄

原市には、年間200万人以上の観光客が訪れています。最近では観光の形態も変わり、その土地ならではの体験をしたり、地元の人達のきさくな人柄にふれたと思う人が増えています。

野菜の収穫体験や、そば打ち、農家の人々との交流といった、ふる里を感じさせる癒しの体験など観光のすそ野は広がり、全国的に観光客誘致競争も活発になってきました。

そうした中で注目されているのが、「おもてなし」です。もてなしの心は、何気ないあいさつや、さりげない会話など、たった一人でも、そして今日からでも出来ることがあります。来訪者へのちよつとした心くばりこそ、「もてなしの心」の原点であり、それがその地域に暮らす人々の魅力に感じられ、また訪れたいと思うまちへと繋がります。

市では今年度、観光業界での先駆者を講師に招き、「おもてなしの実践とその効果」についての研修会や、観光ボラ

ンティアガイドの活動支援も予定しています。おもてなしを意識することは、地域をぬくもりあるものへと変えていきます。身近なことから少しずつ一緒に始めてみませんか。また、先月号につづき、市内での「おもてなし」の取り組みについてご紹介します。

●おもてなし講演会

どなたでも参加できる講演会です。私たちの住むふるさと庄原の魅力を、一緒に高めていきませんか。

とき 9月29日(木)

15時30分～

ところ かんぼの郷庄原

内容

観光地の魅力を高める

おもてなしの実践とその効果

講師

サービスコンサルタント

福島規子さん

※詳細については、広報しようばら9月号でお知らせします。

問い合わせ

商工観光課観光交流係

☎0824-73-11178

庄原地

くま笹茶でのおもてなし 庄原紫水会の皆さん

上野池の湖畔に、木造の門や塀、庭をもつ趣ある建物があるのをご存知でしょうか。これは、庄原市が生んだ文豪である倉田百三ゆかりの地を活用した無料休憩所「紫水寮」です。

その紫水寮では、毎週日曜日に庄原紫水会の皆さんが、園内を散策される方を休憩所へ招き、くま笹茶を振る舞いながら上野公園や倉田百三について説明し、観光客の皆さんは紫水会の会員との語らいや交流を楽しんでいます。

上野公園には、桜の季節をはじめ多くの観光客が訪れますが、このおもてなしの活動は観光客の皆さんから好評をいただいています。

紫水会は、「上野公園大好き」というボランティア会員15人で構成されています。一緒に活動する会員を募集中です。興味のある方は気軽にお問い合わせください。

庄原紫水会 定光大燈さん
☎0824-7210742



冬にはこたつを囲んで語らい



入口には手づくりの看板



浴衣でのおもてなしも